

天草拓心高校 ルーブリック評価一覧

			到達までに相当の努力が必要	到達までに努力が必要	一部到達できている	十分到達できている
ありたい像	領域	小分類	1	2	3	4
A 個別の知識・技能	① 知識	(1) 事実に基づく知識	授業をとおして教科の専門的知識を理解・習得していない。	授業をとおして教科の専門的知識をやや理解・習得している。	授業をとおして教科の専門的知識を理解・習得している。	授業の内容を理解し、教科の専門的知識を更に探究することができる。
		(2) 概念的知識（経験的知識）	事実に基づく知識と経験から得る新たな知識を関連づけて理解することができない。	事実に基づく知識と経験から得る新たな知識を関連づけて理解することができない。	事実に基づく知識と経験から得る新たな知識を関連づけて理解することができない。	事実に基づく知識と経験から得る新たな知識を関連づけて理解することができ、新たな知識を探究することができる。
	② 技能（技術）	(1) 事実に基づく技能（技術）	実験・実習をとおして教科の専門的知識（技術）を理解・習得していない。	実験・実習をとおして教科の専門的知識（技術）をやや理解・習得している。	実験・実習をとおして教科の専門的知識（技術）を理解・習得している。	実験・実習の内容を理解し、教科の専門的知識（技術）を更に探究することができる。
		(2) 経験的知識（技術）	事実に基づく技能と経験から得る新たな技能を関連づけて理解することができない。	事実に基づく技能と経験から得る新たな技能を関連づけて理解することができない。	事実に基づく技能と経験から得る新たな技能を関連づけて理解することができない。	事実に基づく技能と経験から得る新たな技能を関連づけて理解することができ、新たな技能を探究することができる。
B 思考・判断・表現	③ 思考力	(1) 科学的思考	仮説を立てられず検証に至らない。	仮説は立てられたが適切な検証方法を見いだせない。	仮説に見合った方法で検証でき、結果を得ている。	自ら仮説を立て、適切な方法で検証し、得られた結果から考察できる。
		(2) 情報分析能力	新しい知識や情報を取得できない。	新しい知識や情報を取得し、整理することができる。	授業やアンケートなどから複数の情報を得ることができ、それらを用いて考察することができる。	授業や調べ学習で得た知識やアンケート、実験・検証などから得たデータを元に考察や創意工夫ができる。
	④ 判断力	(1) 論理的判断	記述した文章の内容に矛盾や誤りが含まれている。	矛盾や誤りなく文章を記述できている。	記述した内容が正確で、説得力がある。	記述した内容が正確で説得力があり、新たな視点を加えている。
		(2) 計画性	計画を立案できず実行力がない。	計画を立案し、実行できる。	立案した計画が適切かどうかを判断し、実行に移す（検証する）ことができる。	立案した計画をもとに実行（検証）し、状況に応じて改善を行うなど臨機応変に対応できる。
	⑤ 表現力	(1) プレゼンテーション能力	自分の取組をまとめることができない。	自分の取組をまとめることができる。	図やグラフを用いて自分の取組をまとめられる。	取組のまとめに、適切な図やグラフなどによる表現や、独自の創意工夫が見られる。
(2) コミュニケーション能力		自分の取組を説明できない。	自分の取組を発表・説明することができる。	自分の取組を理解し、自分の言葉で発表・説明できる。	自分の取組を十分に理解し、他者に分かりやすく説明することができる。	
C 学びに向かう力・人間性	⑥ 主体性	(1) リーダーシップ	全てを自分の事と捉えることができない。	課題を認識し、動くことができる。	活動を自分の課題と捉え、積極的に考え、動くことができる。	活動を自分の課題と捉え、積極的に考え、動くことができ、成果をだすことができる。
		(2) 目標設定能力	目標が定まらず、何をすればいいかわからない。	目標が見えてきて、どうすればいいか考えている。	目標を設定し、それに向けた行動をしようとしている。	目標設定が明確で、それに向けた具体的な行動がとれる。
		(3) 実行力・持続力	継続的に取り組むことができず結果を出せない。	計画とはずれているが、継続して取り組むことができる。	計画通りに継続して取組を進めることができる。	計画通りに継続して（定期的に）取り組むことができ、工夫・改善をしながら結果を出すことができる。
	⑦ 協働性	(1) 対話的活動能力	自己主張ばかりで他人の意見を聞き入れない。	他人の意見を聞くことができる。	自分の意見と他人の意見の相違点や共通点を見いだすことができる。	相手の意見を尊重し、意見をまとめながら行動できる。
		(2) 課題発見力	課題が何であるか考えようとしていない。	課題について自らの意見を述べている。	課題について出された意見を聞いたうえで、自らの考えを発言することができる。	課題が何であるかを、意見を出し合う中で発見し、本質に近づく努力ができる。
		(3) 独創性	従来に沿った目的、方法、手法が計画されている。	独自性のある目的、方法、手法が立てられている。	学習において独自性のある結果、考察が得られている。	学習目的、結果の独自性が社会において認知される。
⑧ 倫理観	(1) 社会性（地域性）	天草の特長や地域について知らない。興味・関心を持っていない。	天草の持つ特徴や地域性を理解している。	天草の持つ問題を認識し、その解決方法を調べ、実践することができる。	天草の持つ問題を認識し、その解決方法を調べ、実践し、改善することができる。	
	(2) 自己肯定感	自らの役割を認識せず、活動に積極性がみられない。	自らの役割を理解し、積極的に活動できる。	自らの役割を理解し、天草をはじめ地域社会にいかに関与できるかを考え行動できる。	自らの役割を見出し、天草をはじめ地域社会にいかに関与できるかを考え行動できる。	
	(3) 確かな職業観	将来の職業について、何も決まっていない。	将来の職業について、系統や方向性までは決まっている。	将来の職業について、具体的な目標が決まっている。	将来の職業について、具体的に決まっており、それに向けて動き出している。	